



平成30年8月6日(月) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
消防課	消防係	岩田	内線2472 直通 058-272-1122 FAX 058-278-2549

熱中症(疑いを含む)による救急搬送人員数等の状況について(速報値)

岐阜県内における本日0:00~16:00までの間の熱中症(疑いを含む)による救急搬送状況の速報は下記のとおりです。

なお、救急搬送の状況は、最新のデータを使用していますが、あくまでも速報値であるため、後日修正することもありますのでご了承ください。

また、これまでの搬送件数については、岐阜県ホームページをご覧ください。

記

1 本日の搬送者数

消防本部名	搬送人員(人)	年齢区分(人)						傷病程度(人)					
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	計
瑞浪市消防本部	2	0	0	0	1	1	2	0	0	2	0	0	2
各務原市消防本部	3	0	0	0	2	1	3	0	0	1	2	0	3
飛騨市消防本部	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1
下呂市消防本部	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	1
揖斐郡消防組合消防本部	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	1
可茂消防事務組合消防本部	3	0	0	1	1	1	3	0	0	1	2	0	3
大垣消防組合消防本部	4	0	0	0	4	0	4	0	0	1	3	0	4
中濃消防組合消防本部	1	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1
岐阜市消防本部	7	0	0	0	1	6	7	0	0	7	0	0	7
計	23	0	0	2	11	10	23	0	0	13	10	0	23

本年度累計数	1773	0	15	363	551	844	1773	2	58	838	870	5	1773
--------	------	---	----	-----	-----	-----	------	---	----	-----	-----	---	------

(調査開始日(4月30日)から本日16:00までの累計数)

2 中等症以上の傷病者の状況

傷病程度	性別	年齢	状態	発生市町村	発生時間、現場の状況等
中等症	女	87	全身発汗有 顔面紅潮 全身倦怠感有	瑞浪市	15:11 出動要請 外出中に道路で動けなくなっているところを、通行者に発見され救急要請。
中等症	女	63	全身発汗有 顔面蒼白 めまいと嘔気有	瑞浪市	15:14 出動要請 ビニールハウス内で仕事していたところめまいと嘔気を発症し職場の同僚から救急要請。
中等症	女	69	意識はあるが、呂律が回らない。	各務原市	12:37 出動要請 道路で、高齢高齢が倒れている。
中等症	男	26	めまい、意識消失	美濃市	6:30から仕事を開始、7:40頃作業中にめまいが出現し、その後意識消失(約5分)したもの。作業時の外気温30℃、発汗なし体温36.3℃。 救急隊到着時、意識清明。めまいは、治まっている状態であった。
中等症	女	60	意識状態は普段と変わりなし。 顔色等は正常。体温は37.9度	池田町	13時42分 救急要請 アルツハイマー病のため生活に介助が必要な方で、最近あまり水分が摂れず、さらに暑い部屋に居たため、訪問看護師から救急要請がある。
中等症	男	73	体に力が入らない	美濃加茂市	12:17出動要請。3、4日前から食欲もなく動けない。室内高温。
中等症	女	38	頭痛	岐阜市	自宅で頭痛の訴え。 昨日は日中8時から20時まで活動していたと聴取。
中等症	女	90	倦怠感、頭痛	本巣市	自宅で頭痛と倦怠感を訴えたため、家族が消防署まで車で乗せてきたもの。

中等症	女	89	倦怠感	本巣市	自宅で起床後、嘔吐し動けなくなり、倦怠感を訴えた。
中等症	男	78	ふらつき	瑞穂市	路上で歩行中、ふらつき転倒し、負傷した。
中等症	女	89	倦怠感	岐阜市	自宅で嘔気及び倦怠感を訴えた。 半袖、長ズボン。クーラー作動あり。
中等症	男	65	倦怠感	岐阜市	自宅付近路上で座り込んでいたところを付近住民に発見された。服装：反袖、長ズボン
中等症	男	80	倦怠感 歩行不能	岐阜市	自宅へ帰る途中、転倒し歩けなくなったと訴えた。 半袖、長ズボン、帽子無し。

### 3 関連報告事項

### 4 これまでの搬送件数

岐阜県ホームページ「県内における熱中症の救急搬送者数の状況」をご覧ください。

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kurashi/shobo/shobo-kyukyu/11193/necchusho.html>

※岐阜県HP上で、「熱中症」と検索してもご覧いただけます。



#### ★熱中症にかからないための注意点

- ・熱中症を予防するには、暑さを避け、こまめに水分を補給し、急に暑くなる日には注意することなどがが必要です。
- ・特に、高齢者は温度に対する皮膚の感情性が低下し、暑さを自覚できにくくなるため、屋内においても熱中症になることがありますので注意が必要です。

#### (年齢区分について)

新生児	生後28日未満
乳幼児	生後28日以上満7歳未満
少年	満7歳以上満18歳未満
成人	満18歳以上満65歳未満
高齢者	満65歳以上

#### (傷病程度について)

死亡	初診時において死亡が確認されたもの
重症	3週間以上の入院加療を必要とするもの以上
中等症	重症または軽症以外のもの
軽症	入院加療を必要としないもの
その他	医師の診断がないもの及び傷病の程度が判明しないものなど

#### (留意事項)

- ・搬送状況は、各消防本部が熱中症(疑いを含む)と判断したものを県が取りまとめたものです。
- ・県及び消防本部では、医療機関へ搬送した後の傷病者の状態等の個人情報、本集計の対象外であるため収集していません。